

October 15, 2020

【前日の為替概況】ドル円、NY ダウの下落を受けて 105.04 円まで続落

14 日のニューヨーク外国為替市場でユーロドルは横ばい。終値は 1.1746 ドルと前営業日 NY 終値 (1.1746 ドル) とほぼ同水準。欧州で新型コロナウイルス感染が再拡大する中、米国株が失速したこともリスク・オンのドル売りを後退させ、1.1771 ドルから 1.1744 ドル付近まで下押しした。

フランス政府は新型コロナウイルス感染再拡大を受けて約 3 カ月ぶりに公衆衛生上の非常事態を宣言。17 日から首都パリなどで夜間の外出が禁止されることになった。

ドル円は反落。終値は 105.17 円と前営業日 NY 終値 (105.48 円) と比べて 31 銭程度のドル安水準。一時は 110 ドル超上昇したダウ平均が失速し、210 ドル超下落したことも相場の重しとなり 105.04 円と 2 日以来の安値を付けた。ただ、104.90 円までは断続的に買いオーダーが観測されているほか、105.00 円には 15・16 日行使期限のオプションが設定されているため、105 円台を割り込むことはなかった。

ムニューシン米財務長官とペロシ米下院議長 (米民主党) は、追加経済対策について電話会談を行った。「協議は建設的だった」としながらも「双方に大きな隔たりがある」とし、ムニューシン氏は大統領選前の合意は困難との見方を示した。

ユーロ円は 3 日続落。終値は 123.53 円と前営業日 NY 終値 (123.89 円) と比べて 36 銭程度のユーロ安水準。米経済対策を巡る米政権と民主党の交渉が行き詰まる中、米国株が下落するとリスク回避目的の円買いが入り一時 123.47 円と日通し安値を更新した。豪ドル円は一時 75.20 円、NZ ドル円は 69.92 円、カナダドル円は 79.86 円、南アフリカランド円は 6.35 円まで値を下げた。

ポンドドルは 1.3064 ドルまで上昇する場面があった。「英国は欧州連合 (EU) との通商協議をすぐに打ち切りにはしないことを示唆」との報道を受けたポンド買いが継続した。

【本日の東京為替見通し】ドル円、NY 株安・米金利低下で軟調推移か

本日の東京外国為替市場のドル円は、ニューヨーク株安・米 10 年債利回り低下を受けたリスクオフ地合いで軟調推移が予想される。

ドル円のオーダー状況は、上値には、一目・転換線 105.58 円の上の 105.60 円にドル売りオーダー、超えるとストップロス買いが控えている。下値には、一目・基準線 105.15 円の下 105.00 円にドル買いオーダーと本日の NY カットオプション、104.95 円割れにはストップロスが控えている。

9 時 30 分発表の 9 月豪雇用統計の予想は、失業率が 7.1% (8 月 6.8%)、新規雇用者数が ▲3.50 万人 (8 月 +11.1 万人) で雇用情勢の悪化が見込まれている。予想通りかネガティブサプライズならば、豪準備銀行 (RBA) による追加緩和策、マイナス金利導入の可能性が高まることで、豪ドル売り要因となる。

ロウ豪準備銀行 (RBA) 総裁は、「実質的なインフレ率が持続的に目標範囲内に収まるまで金利を引き上げることはないだろう。少なくとも今後 3 年間は金利を引き上げることがを予想していない」と述べている。

10 時 30 分発表の 9 月中国消費者物価指数 (CPI) の予想は前年比 +1.8% (8 月 +2.4%)、9 月中国生産者物価指数 (PPI) の予想は前年比 ▲1.8% (8 月 ▲2.0%) となっており、消費段階の物価上昇率は低下、生産段階の物価上昇率は上昇が見込まれている。中国人民銀行は、今週から、人民元高を抑制するために、「外貨リスク準備金率」を 20% から 0% へ引き下げ、中国人民元の対ドル基準値も元安方向に誘導していることで、物価上昇率の上昇が見込まれている。

新型コロナ景気対策法案に関しては、共和党 (1.5 兆ドルから 1.8 兆ドルへ増額) と民主党 (2.4 兆ドルから 2.2 兆ドルへ減額) による協議が難航している。ムニューシン米財務長官は、「ペロシ米下院議長と包括的な議論ができた。トランプ米大統領は合意するまで交渉を継続するようと言っている」と述べているものの、「11 月 3 日の米大統領選前に追加経済対策がまとまるのは難しい」とも述べている。

本日 15 日は、ジョンソン英首相が設定した英国と欧州連合 (EU) との通商交渉の期限であり、15-16 日の欧州連合 (EU) 首脳会議に臨むことになる。ポンドドルは、「英国は欧州連合 (EU) との通商協議をすぐに打ち切りにはしないことを示唆」との報道で下げ渋る展開となっており、続報に要注目か。

また本日は、トランプ大統領が最高裁判事に指名したシカゴ連邦高等裁判所で判事を務める保守派の女性判事エイミー・コニー・バレット氏に対する上院司法委員会での公聴会の最終日となる。バレット氏は、人工妊娠中絶や医療保険制度改革法 (オバマケア) に対する見解を示すことなく、26 日週に上院で承認される見込みとなっている。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

- 08:50 ◇ 対外対内証券売買契約等の状況（週次・報告機関ベース）
- 13:30 ◇ 8月第三次産業活動指数（予想：前月比1.5%）

<海外>

- 09:30 ◎ 9月豪雇用統計（予想：失業率7.1%／新規雇用者数▲3.50万人）
- 10:30 ◎ 9月中国消費者物価指数（CPI、予想：前年比1.8%）
- 10:30 ◎ 9月中国生産者物価指数（PPI、予想：前年比▲1.8%）
- 15:30 ◇ 9月スイス生産者輸入価格
- 15:45 ◇ 9月仏消費者物価指数（CPI）改定値（予想：前月比▲0.5%／前年比0.1%）
- 16:30 ◇ 9月スウェーデン失業率
- 21:30 ◎ 10月米ニューヨーク連銀製造業景気指数（予想：15.0）
- 21:30 ◎ 前週分の米新規失業保険申請件数／失業保険継続受給者数（予想：82.5万件／1070.0万人）
- 21:30 ◎ 10月米フィラデルフィア連銀製造業景気指数（予想：14.0）
- 21:30 ◇ 9月米輸入物価指数（予想：前月比0.3%）
- 22:00 ◎ カンリフ英中銀（BOE）副総裁、講演
- 22:00 ◎ ボスティック米アトランタ連銀総裁、講演
- 24:00 ◇ EIA 週間在庫統計
- 24:00 ◎ クオールズ米連邦準備理事会（FRB）副議長、講演
- 16日 01:00 ◇ 9月ロシア鉱工業生産（予想：前年比▲5.9%）
- 16日 01:00 ◎ ラガルド欧州中央銀行（ECB）総裁、講演
- 16日 06:00 ◎ カシユカリ米ミネアポリス連銀総裁、講演
- 英・欧州連合（EU）の自由貿易協定（FTA）交渉合意期限（英側設定）
- EU 首脳会議（ブリュッセル、16日まで）

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

14 日 11:04 デイリー米 SF 連銀総裁

「現在の政策は適切」
「コロナ後にさらなる措置が必要かどうかはまだわからない」「経済や政策は現在良い状況にある」

14 日 12:28 習・中国国家主席

「中国は全面的な開放を堅持」
「中国本土と香港、マカオの統合を促進する」
「コロナ感染症のパンデミックで世界の変化が加速」
「保護主義と単独主義が台頭している」
「中国経済は長期的に健全」

14 日 15:55 フローデン・リクスバンク副総裁

「金利は下限に近い」
「中銀にはまだ手段があり、さらに行動できる」

14 日 16:18 欧州連合(EU)首脳会議草稿

「離脱関連交渉者に 2021 年 1 月 1 日に発効する合意のための話し合いへの注力を要請」
「木曜から金曜の首脳会談における貿易協定合意のための英国との話し合いの進展は不十分」
「(英国内市場法について)離脱協定は完全に時宜を得て実行されなければならない」
「EU 首脳は『合意なし』の準備を用意へ」

14 日 17:23 ラブロフ露外相

「ナゴルノ・カラバフ自治州に関するトルコの立場に同意せず。軍事的解決策は受け入れられない」

14 日 17:27 国際エネルギー機関(IEA)

「コロナ第 2 波による需要減速で、生産者による市場バランスを図るための努力は困難に」

14 日 20:20 ジョンソン英首相

「全国的なロックダウンという悲惨な状況を避けたい」
「地域に応じた段階的なアプローチが正解」
「この 2 週間でもっと交渉が進展しなかったことに落胆している」「EU 首脳会議の結果を楽しみにしている」

14 日 20:24 独主要経済研究機関

「2020 年成長予想-5.4%(春時点-4.2%から下方修正)」
「2021 年成長予想+4.7%(春時点+5.8%から下方修正)」
「2022 年には 2.7%の GDP 増加を期待」

14 日 20:34 独ヴェルト紙

「ユーロ高が経済回復を遅らせる恐れがあり、理事会で広く議論した際もラガルド総裁はユーロ高を牽制せず」
「レーン ECB 専務理事の口頭による介入効果を弱めた」
「理事会での合意欠如を示唆」
「ラガルドは金融市場との適切なコミュニケーションを身につけていない」
「ドラギ前総裁の後継者ラガルドはまだマジックを使っていない」「誤った言葉を使うことを恐れている」

14 日 22:05 クラリダ FRB 副議長

「米国の GDP がパンデミック前のピークに達するにはもう 1 年かかるだろう」「完全雇用が戻るまでに時間がかかる」「5 月以降の経済データは驚くほど強いが見通しは依然として不透明、ウイルスと緩和努力の成功次第」

15 日 00:00 デコス・スペイン中銀総裁

「スペインの成長の勢いはこのところ減速している」

15 日 00:41 ムニューシン米財務長官

「ペロシ米下院議長と包括的な議論ができた」
「選挙前に何か合意ができるのは難しい」
「一定の課題ではかなり隔たりがある。特定の課題では引き続き進展している」
「トランプ米大統領は合意するまで交渉を継続するよう」と言っている」「トランプ政権は新型コロナウイルス支援法案合意の挑戦をし続ける」
「私とペロシ米下院議長は大幅な妥協を行った」
「明日も継続して話し合うことに同意している」
「特定分野ではまだもっとやるべきことがある」

15 日 04:08 クオールズ連邦準備理事会(FRB)副議長

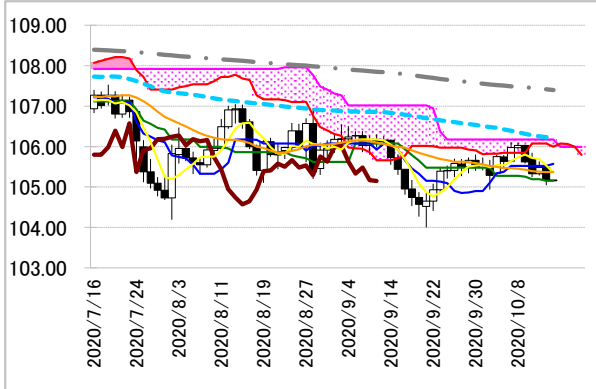
「力強い回復継続に楽観的」
「行動すべき方法はまだある」
「雇用市場は深く落ち込んでいる」

15 日 04:37 クドロー米国家経済会議(NEC)委員長

「ムニューシン米財務長官は景気刺激策の交渉に不満を持っている」
「民主党はオール・オア・ナッシングを求めている」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

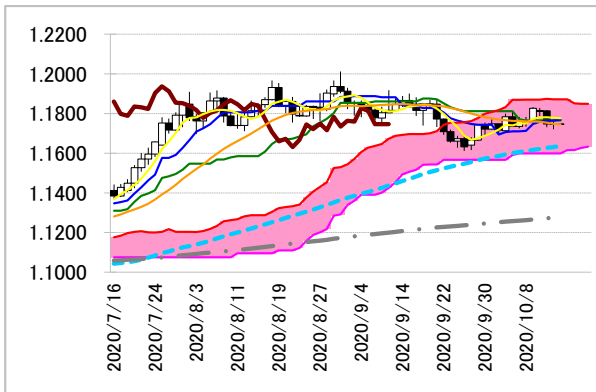


<ドル円＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回っているものの、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。抱き線で転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	105.58(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	105.17
サポート1	104.94(10/2 安値)
サポート2	104.00(9/21 安値)

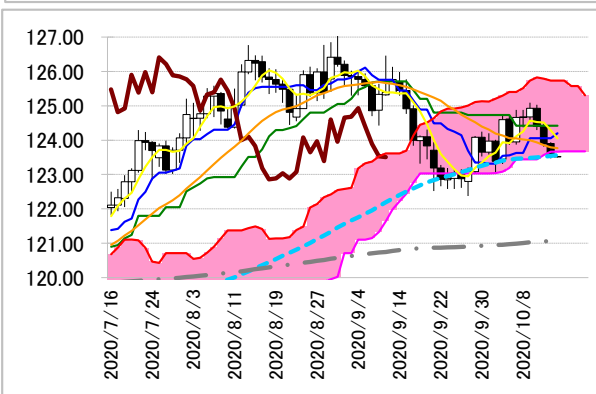


<ユーロドル＝雲の上限を抵抗に戻り売りスタンス>

寄引同事線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の中で引けているものの、転換線を下回って引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。寄引同事線で反発の可能性はあるものの、転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、雲の上限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.1872(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	1.1746
サポート1	1.1685(9/30 安値)

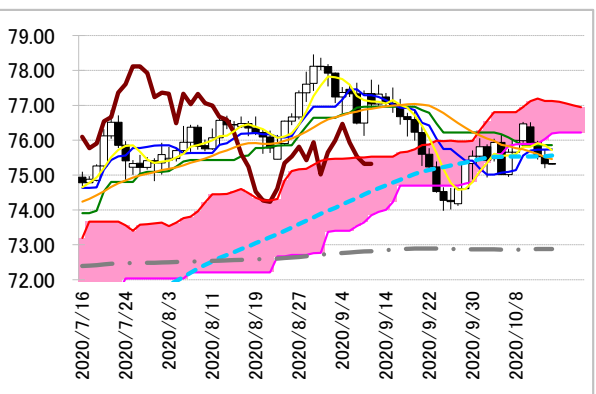


<ユーロ円＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。3手連続陰線で転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	124.20(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	123.53
サポート1	122.38(9/28 安値)



<豪ドル円＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯中。3手連続陰線で転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	75.73(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	75.32
サポート1	73.98(9/24 安値)

